

# 【概要版】十和田湖温泉郷まちなみ再整備計画

## 1. 計画の概要

### 1-1 計画策定の趣旨

○十和田湖温泉郷まちなみ再整備計画(以下、本計画という)は、焼山地区活性化基本計画に示す方針等に基づくとともに、焼山地区活性化基本計画に示す整備方針等を踏まえながら、焼山地区のうち、特に十和田湖温泉郷におけるまちなみ再整備の方針等を示す個別計画であり、本計画においてまちなみ再整備の方針や具体的な事業の概要等について示すことにより、エリア全体において一体的で連続性のあるまちなみ景観を形成することを目的とするものです。

### 1-2 本計画の対象区域

○本計画の対象区域は、十和田湖温泉郷を対象とします。

### 1-3 本計画の期間

○本計画の期間は、令和2年度(2020年度)から、主要な事業が完了し事業実施の効果が現れると考えられる令和5年度(2023年度)までの4年間とし、計画の進捗状況や社会情勢の変化等に合わせて、必要に応じて見直しを行うものとしします。

### 1-4 本計画の位置づけ

○本計画は基本計画を上位計画として位置づけ、焼山地区のうち特に十和田湖温泉郷における再整備の方向性を示す個別計画となります。  
○本計画の検討にあたっては、「奥入瀬ビジョン」なども勘案しながら検討を進めます。

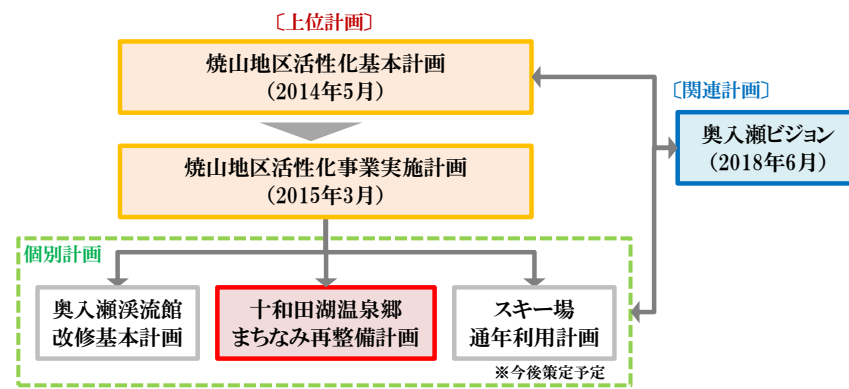


図 本計画の位置づけ

## 2. まちなみ再整備の基本方針

○今後の当該エリアのまちづくりの“指針”となるまちなみ再整備の基本方針を以下のとおり定めます。

### 《まちなみ再整備の基本方針》

#### 国立公園の「玄関口」として “ベースポイント”となる地域づくり

○国立公園の一部である十和田湖・奥入瀬渓流などの「玄関口」として、当該エリアを拠点として、国立公園の散策を楽しむことができるような、人びとのベースポイント(基地拠点)となる地域づくりを行います。  
○また、国立公園らしさを感じることができる景観の形成や、一体的で連続性のあるまちなみ整備により、人びとを呼び込み・受け止める地域づくりを行います。

### 《具体的な取り組みの方向性》

- ◇エリア全体でのデザインの統一
  - 街灯・街路やサインなどエリア全体で統一したデザインとして整備
- ◇ゲートから連続性のある景観形成
  - 一体的で連続性のある景観を形成
- ◇誘導サイン・案内等の適切な整備
  - 主要な目的地への誘導サイン・総合案内等を整備
- ◇奥入瀬渓流館方面との連携強化
  - 奥入瀬渓流館エリアとの連携を強化
- ◇地域・行政が連携した取り組みの展開
  - 人びとを呼び込む仕掛けの検討

## 3. 基本方針のイメージ図・事業の実施範囲

○ゲートから十和田湖温泉郷一体のエリアでサイン等、街路・街灯の再整備の検討を進めるとともに、十和田湖温泉郷の中心部において景観整備の検討を進めます。



図 まちなみ再整備の基本方針

## 4. 事業及び実施スケジュール

○各種事業は計画期間内において段階的に実施することを予定します。

### 《対象事業》

サイン等の整備：地域における総合案内板や施設・設備等の方向を示す誘導サイン等の整備

街路・街灯の整備：一体的で連続性の高いまちなみ景観を形成する街路・街灯の整備

### 《検討事業》

遊休地・空き家等の活用：空き家・空き地等における地域の活性化に資する取組を検討

表 事業実施スケジュール

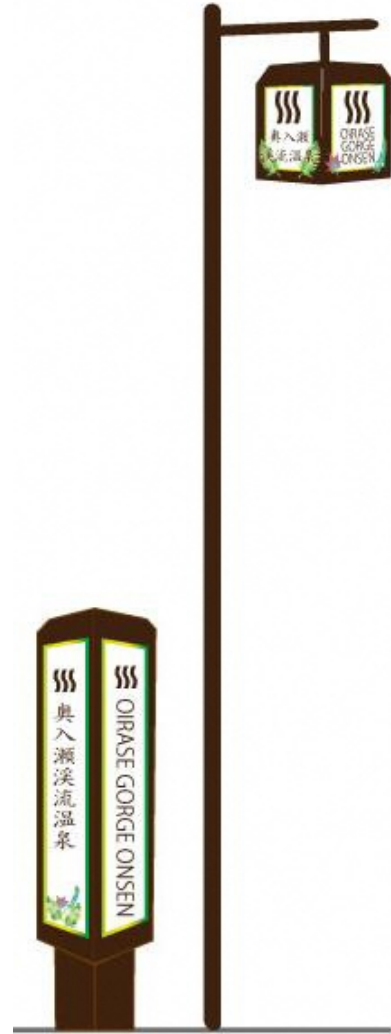
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組主体
サイン等の整備	設計	施工等			市
街路・街灯の整備	設計		施工等		市
遊休地・空き家等の活用	調査検討・実施				地域・市

## 5. まちなみ再整備に向けた具体的な事業

○街灯やサインについては、ゲートデザインとの一体性を踏まえて、同様の配色パターン・デザインを活用します。

### ◆整備イメージ①

街灯



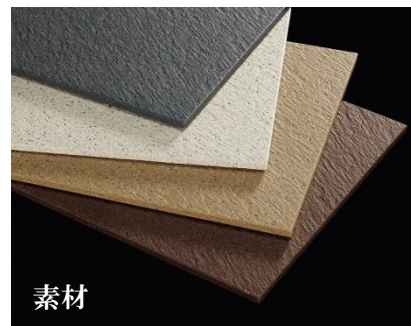
誘導サイン



整備イメージ (全景)



街路

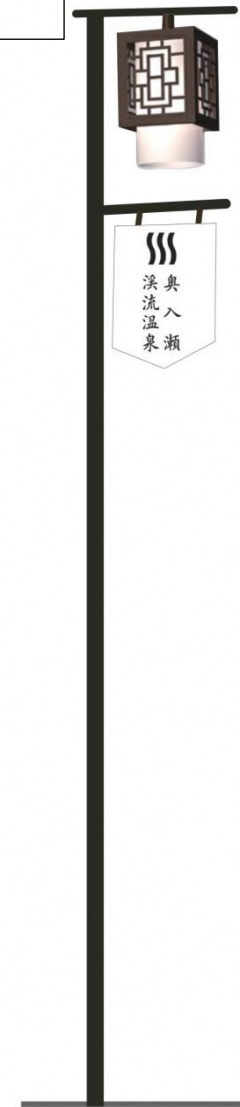


素材

施行イメージ

### ◆整備イメージ②

街灯



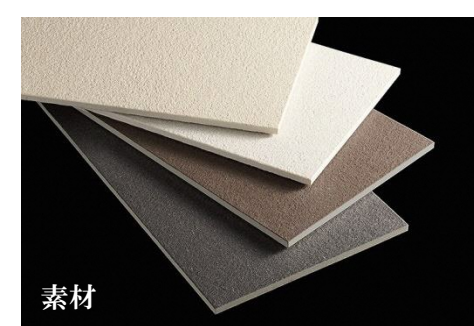
誘導サイン



整備イメージ (全景)



街路



素材

施行イメージ